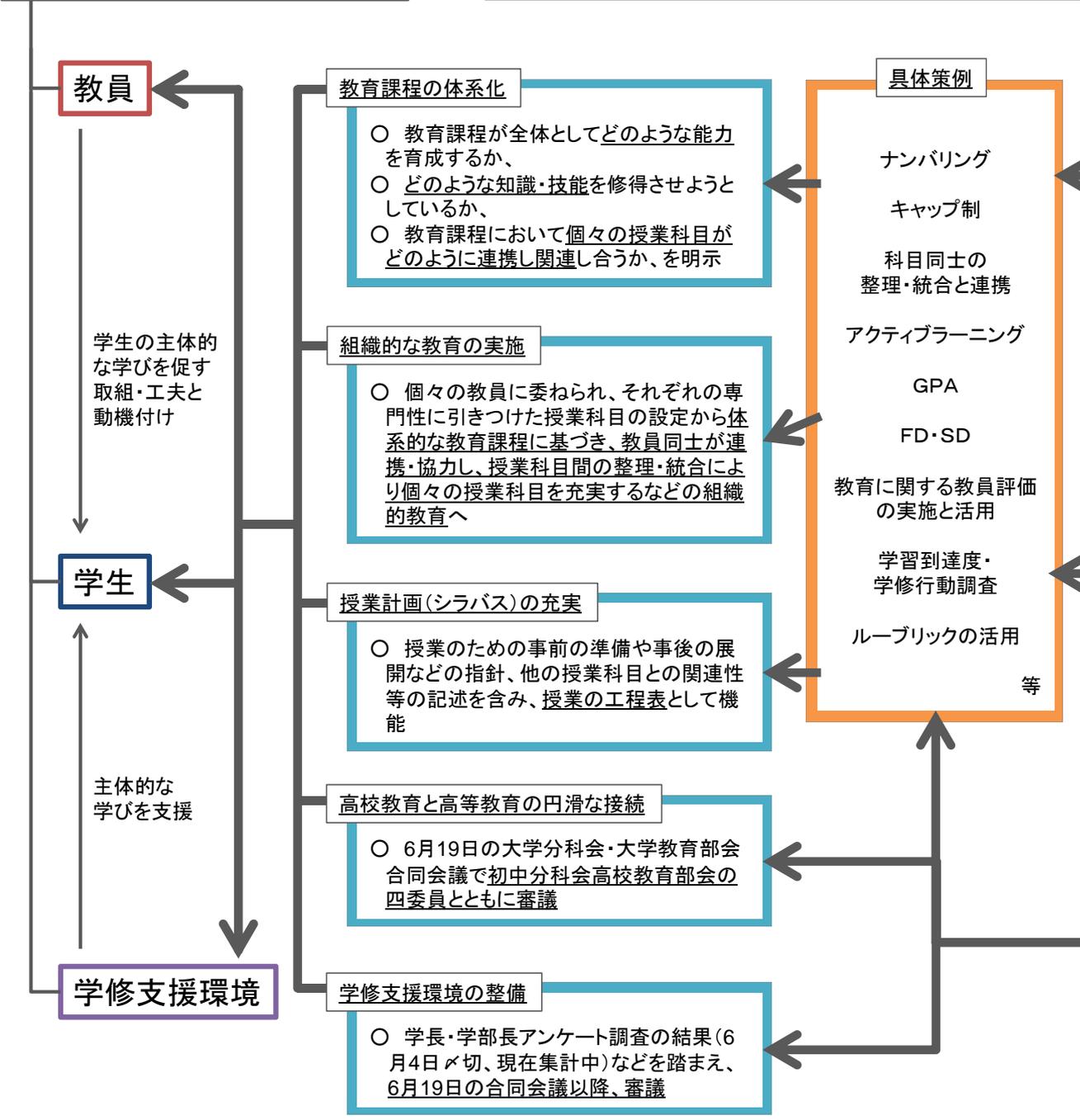


5月21日及び29日のヒアリング等を踏まえた学士課程教育の質的転換に向けた検討課題について (検討たたき台)

学生の主体的な学びの確立 ← 十分な質を伴った学修時間の増加・確保



全学的な教学マネジメント

- Multi-purposeの大学マネジメントの特性・難しさ
- 執行部のマネジメント能力、大学経営の戦略性の強化
- 全学的な教学マネジメントの強化
 - ・ 学長・教学担当副学長の構想力とイニシアティブ
 - ・ 全学的な教学に関する審議機関(教育研究評議会等)の機能
 - ・ 教育課程編成の単位
 - ・ 全学的な教学マネジメントを支えるスタッフとその専門性(担当部署、教学担当スタッフ、カリキュラム・コーディネーター、FD担当者(ファカルティ・ディベロッパー))
 - ・ 教学IR(インスティテューショナル・リサーチ) 等

大学のガバナンスの確立

ヒアリングにおける諸提言(例)

- ワークショップ中心の体系的なFD促進のための、大学教員の教育能力証明の必修化、プログラムの共有・標準化、FD担当者(ファカルティ・ディベロッパー)の育成
- 大学マネジメント層の養成・確保
- それぞれの大学の機能に応じた大学教員の採用要件や評価の改善・多様化
- 情報の非対称性を改善するための教育情報の公開促進
- 編入・転部・転科・転コースの自由化 等

「審議まとめ」において国や大学支援法人等に求めている事項

- 質を伴った学修時間の実質的な増加、確保のための各大学の積極的な取組を資源配分の際の参考資料の一つとして支援・奨励
- 学修支援環境の整備(TA等の充実、ICTを活用した双方向型の授業、学生に対する経済的支援、図書館の機能強化等)
- 関係団体等と連携したアセスメントテスト・学修行動調査の研究・開発の推進、「大学ポートレート(仮称)」の整備
- 日本学術会議の「分野別の教育課程上の参照基準」に関する審議の深化(経営学、言語・文学等)
- 学修成果を重視した認証評価の実施と評価業務の効率化
- 産業界や地方公共団体、地域の学士課程教育への協力・参画、就職活動の早期化・長期化の是正 等

教員

学生

学修支援環境

学生の主体的な学びを促す取組・工夫と動機付け

主体的な学びを支援